

富士テクソリューションズ(2336)

技術者確保に努め 2019/3 期は大幅増益へ！

TOKYO PRO Market | サービス | 業績フォロー

BLOOMBERG 2336 JP | REUTERS 2336.T

- 2018/3 通期は、売上が前期比 5.3%増の 17.15 億円、営業利益が同 5.9%減の 27 百万円、経常利益が同 98.7%減の 26.3 万円、当期純利益が同 94.5%減の 106.6 万円となった。
- 製造業の様々な装置設計開発部門を中心に、2 次元 CAD トレースから始まり、3 次元 CAD モデリングを経て、より高度な技術である機械設計や解析業務において専門技術を持った技術者が技術者派遣・チーム請負・受託開発を顧客ニーズに対応して提供。
- 2019/3 通期会社計画は、売上が同 5.0%増の 18 億円、営業利益が同 58.4%増の 43 百万円、経常利益は前年同期の 26.3 万円に対して 26 百万円、当期純利益は同 106.6 万円に対して 22 百万円と大幅な増益を見込んでいる。

What is the news?

2018/3 通期は、売上が前期比 5.3%増の 17.15 億円、営業利益が同 5.9%減の 27 百万円、経常利益が同 98.7%減の 0 百万円、当期純利益が同 94.5%減の 1 百万円となった。事業別販売実績は、情報処理請負事業が前期比 2.8%減の 774.9 百万円、技術者派遣請負事業が同 16.9%増の 840.2 百万円、プロダクト販売事業は同 11.9%減の 99.9 百万円である。

製造業の様々な装置設計開発部門を中心に、2 次元 CAD トレースから始まり、3 次元 CAD モデリングを経て、より高度な技術である機械設計や解析業務において専門技術を持った技術者が技術者派遣・チーム請負・受託開発を顧客ニーズに対応して提供している。

2017/3 期に債務超過から脱したが、自己資本は 601.1 万円、自己資本比率が 0.7%と水準は低い。累積損失 7,803 万円の解消が今後の課題である。連結子会社エフティ・ファインテックプロダクトは債務超過の状態が続いており、損益の黒字化を目指している。

How do we view this?

2019/3 通期会社計画は、売上が同 5.0%増の 18 億円、営業利益が同 58.4%増の 43 百万円、経常利益は前年同期の 26.3 万円に対して 26 百万円、当期純利益は同 106.6 万円に対して 22 百万円と大幅な増益を見込んでいる。

中途及び新卒技術者の採用強化を図り、技術者の確保に努め、ソリューションビジネスを推進する。また、子会社との連携強化を進めることで、収益改善を図っていく。

業績推移

事業年度	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3F
売上高(百万円)	1,469	1,592	1,629	1,715	1,800
経常利益(百万円)	3.79	21.84	20.15	0.26	26
当期純利益(百万円)	2.93	20.90	19.39	1.06	22
EPS(円)	3.63	25.89	24.02	1.32	27.24
PER(倍)	136.36	19.12	20.61	375.00	18.17
BPS(円)	-37.78	-11.89	12.12	7.44	-
PBR(倍)	-	-	40.84	66.53	-
配当(円)	0.00	0.00	6.00	6.00	-
配当利回り(%)	-	-	1.21	1.21	-

(※)2017/6/30に1:100の株式分割実施、Fは会社予想

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

配当予想(円) 未定 (会社予想)
 株価(円) 495 2018/8/23(基準値)

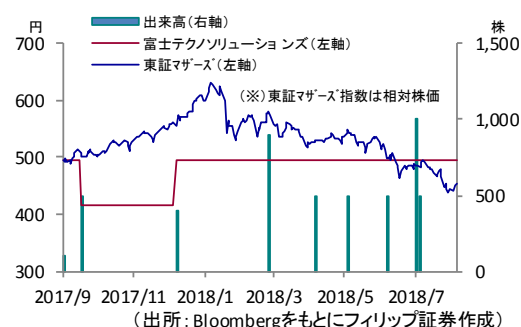
会社概要

1976年に資本金200万円で同社の前身である有限会社「富士商会」を設立、PC関連商品の販売などを目的に創業。現在は同社、富士テクソリューションズを主軸に、エフティ・ファインテックプロダクト及び横芝の連結子会社2社でグループを構成している。

製造業のものづくり開発の支援ビジネスを、本社のある神奈川県厚木市を主たる商圏とし、大阪市・愛知県の1府2県で展開。事業内容は、同社で各メーカーからの依頼により技術提供を行う情報処理請負事業及び、技術者派遣事業、CAD関連のソフトの販売、環境構築・運用コンサルティングを行うプロダクト販売事業を行っている。横芝では、同社同様に技術者派遣事業、エフティ・ファインプロダクトでは3Dプリンタの販売及びCAD関連のソフトの販売を行うプロダクト販売事業を行っている。

同社は2004年にISO9001認証を取得し、2006年に技術本部がISO/IEC27001:2005認証を取得。2013/7から本社及びサポートソリューションセンター、厚木テクニカルセンターを厚木市に移転。名古屋と大阪に事務所を設置している。2017/9/19にTOKYO PRO Marketに上場した。

企業データ



主要株主(2018/3/31)

株主名	(%)
1. 高井 男	50.54
2. 原田 久仁子	13.16
3. 高井 澄子	5.75

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

庵原 浩樹

hiroki.ihara@phillip.co.jp

+81 3 3666 6980

増淵 透吾

togo.masubuchi@phillip.co.jp

+81 3 3666 0707

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元：フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者：公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則（平14.1.25）」に基づく告知事項>

1. 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。
2. 当社は、東京証券取引所の定める「特定上場有価証券に関する上場規程の特例」（以下「特例」）第102条の規定に基づき、発行会社の担当 J-Adviser に就任する旨の契約を締結いたしております。また、当社は、「特例」第135条に定める流動性プロバイダーであり、発行会社株式の円滑な流通の確保に努めるほか、流動性プロバイダーとしての義務を負っております。